

四谷地区三小学校 統合協議会だより

平成 16 年 10 月 28 日

No.10

10月6日(水)19時より四谷第四小学校で第10回の協議会が開催されました。今回も営繕課長や幼保一元化担当副参事の出席がありました。

資料として当初案と、建物全体を西側に配置する案との比較検討対比表、西側配置案の部屋割りを示した図面が配付され、はじめに営繕課長から、比較検討の結果、西側に配置する案が優れているのではないかと説明がありました。

また幼保一元化担当副参事から、幼保一元化施設のコンセプトの説明がありました。

質疑の後、基本設計については、西側配置案を基本に今後学校とも協議を進め、11月末に柱型や面積などを示した図面が出来るので、また何らかの形で協議会に示したいと説明がありました。

主な発言内容は下記のとおりです。

主な発言内容

- ・安全性について西側案が『 』になっているのはなぜか。当初案のほうが見通しが良くていいのではないか。
- ・1階の形が防犯上不安。不審者が入った場合、中庭まで入って来ないと分からない。カメラの設置や人を配置するとか考えているのか。主事室を校門の近くやグラウンドに面したところに配置してほしい。
- ・区として子供の安全を最優先にする姿勢を示してほしい。
- ・幼保園の園庭はコの字型になっていて死角が出来てしまう。防犯上好ましくないのではないか。
- ・一元化施設は19年4月当初から総合施設としてスタートできるのか。
- ・天然芝の校庭は走った時のタイムが遅くなるなど、子供たちが様々な活動するのに必ずしも適当でない。また手入れをするのに今の主事さんだけでは無理で、1名増員が必要。お金がかかりすぎる。それよりも体育館の空調化など、もっと別のことにお金を使ってほしい。
- ・今の子供たちは偏平足が多い。土のグラウンドにして足の裏を鍛える必要があるのではないか。中学校のようなダスト舗装が良い。